

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



PCT

(43) 国際公開日  
2006年10月26日 (26.10.2006)

(10) 国際公開番号  
WO 2006/112004 A1

(51) 国際特許分類:  
*B65G 61/00* (2006.01)      *G09F 3/03* (2006.01)  
*B42D 11/00* (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2005/007104

(22) 国際出願日: 2005年4月12日 (12.04.2005)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 株式会社サンニー (SUNNY CO., LTD.) [JP/JP]; 〒5450021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町1丁目9番2号 Osaka (JP).

(72) 発明者: および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 西川雅章 (NISIKAWA, Masaaki) [JP/JP].

(74) 代理人: 大島泰甫, 外(OHSHIMA, Yasutoshi et al.); 〒5420081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目11番16号心斎橋コラムナービル大島特許事務所 Osaka (JP).

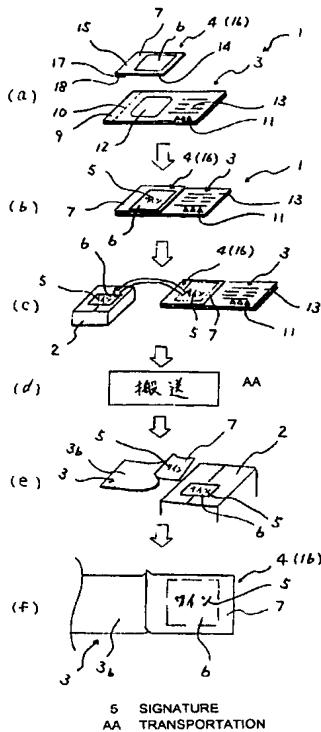
(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU,

[続葉有]

(54) Title: TRANSPORTATION METHOD AND SLIP FOR TRANSPORTATION

(54) 発明の名称: 運送方法及び運送用伝票



(57) **Abstract:** A transportation method capable of assuring that a transported object is kept sealed by a seal and the object is unsealed. Specifically, a sender puts his/her signature (5) on a seal (6), and the signature (5) is copied on a check sheet (7) by handwriting pressure. An object (2) to be transported is sealed by the seal (6) and transported to a destination. The signature (5) on the seal (6) and the signature (7) on the crosscheck sheet (5) are checked with each other. It is confirmed that the seal (6) has not been replaced by confirming that the signatures agree. The object (2) is kept sealed by the seal (6) and this assures that the object (2) is unsealed.

(57) **要約:** 本発明は、被運送物を封印シールで封印したままであり、被運送物が未開封であることを保証することができる運送方法を提供するものである。具体的には、まず、送り主に、封印シール6にサイン5を記入してもらう。記入時の筆圧で、サイン5を照合用シート7に複写する。被運送物2を封印シール6で封止して届け先に搬送する。封印シール6のサイン5と照合用シート7のサイン5とを照合する。両者が一致することを確認して、封印シール6が差し替えられていないことを確認する。被運送物2が封印シール6で封止されたままであり、未開封であることを保証する。

WO 2006/112004 A1



IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR),  
OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML,  
MR, NE, SN, TD, TG).

— 補正書・説明書

添付公開書類:  
— 國際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

## 明細書

### 運送方法及び運送用伝票

#### 技術分野

[0001] 本発明は、送り主から預かった被運送物を届け先に届けると共に、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物が未開封であったことを保証する運送方法及び運送用伝票に関するものである。

#### 背景技術

[0002] 一般に、相手先に荷物を送る際、郵便小包や宅配便などの運送便を利用することが多い。ただ、特に機密書類や貴重品などを送るために運送便を利用するには、送り主の手を離れてから届け先に届くまでの間、被運送物が未開封であったことの保証が求められる。これに対して、被運送物を封印シールで封止することにより、被運送物が未開封であることを確認可能にすることがある(例えば特許文献1)。

特許文献1:実用新案登録第3107438号公報

#### 発明の開示

##### 発明が解決しようとする課題

[0003] ところが、被運送物を封印シールで封止したとしても、届け先に届くまでの間に第三者によって開封され、再び別の封印シールで封印された場合、届け先では、その被運送物が開封されたものであるということを認識することができない。

[0004] 本発明は、被運送物を封印シールで封印したままであり、被運送物が未開封であることを保証することができる運送方法及び運送用伝票を提供することを目的とする。

#### 課題を解決するための手段

[0005] 上記目的を達成するため、本発明に係る運送方法は、送り主から預かった被運送物を届け先に届けると共に、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物が未開封であったことを保証するものである。具体的には、まず、送り主から被運送物を引き受ける際、送り主が封印シールに送り主付与情報を記入する。送り主付与情報としては、例えば送り主が記入するサインが挙げられる。このサインは、例えば封印シールに重ね合わされた照合用シートに複写される。次いで、被運送物を

封印シールで封止して届け先に搬送する。届け先に被運送物を引き渡す際、封印シールに記入された送り主付与情報と照合用シートに複写された送り主付与情報を照合することにより、送り主によって送り主付与情報を記入された封印シールで被運送物が封止されたままであることを保証する。

- [0006] この構成によれば、封印シールに記入した送り主付与情報を照合用シートに複写した送り主付与情報を照合するので、封印シールが別の封印シールに差し替えられていないことを確認することができる。
- [0007] ここで、被運送物は、書類を入れた封筒や梱包物のように開封して内容物を取り出すもの、あるいは内部を秘密状態に保つ必要のある装置など、封をするものであればどのようなものでもよい。送り主付与情報は、送り主が記入したサインや文字、記号、図形、イラストなどどのようなものでもよい。さらに、記入とは、スタンプや印鑑、タイプなどで個別情報を付与することを含む概念であるが、再現性のない手書きのものがより好ましい。送り主付与情報の複写は、複写機などを利用することもできるが、カーボン紙などを利用して筆圧によって複写するようにすれば、その複写を簡単にすることができる。
- [0008] 送り主付与情報を照合する際、単に封印シールの送り主付与情報と照合用シートの送り主付与情報を見比べるなどして照合してもよいが、照合用シートを透光性材料により透視可能に構成し、この照合用シートを封印シールに重ねて送り主付与情報を照合するようにすれば、送り主付与情報を簡単かつ正確に照合することができる。
- [0009] 一般に運送便では、運送の確認及び管理に、送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を複写可能に重ねてなる伝票を用い、これを被運送物と一緒に運ぶようにしている。その伝票に、封印シール及び照合用シートを重ねて、封印シールに記入する送り主付与情報を照合用シートと共に伝票にも複写しておくことができる。なお、封印シール及び照合用シートは、伝票と一体に形成しておくことができる。
- [0010] 照合用シートに複写された送り主付与情報を伝票に複写された送り主付与情報を照合して、照合用シートが差し替えられていないことを確認するようにすれば、照合用シートを被運送物と一緒に届けることができる。つまり、照合用シートの送り主付与

情報と伝票の送り主付与情報とを照合するので、封印シールと共に照合用シートを差し替えたとしても、それを見破ることができる。

[0011] さらに、送り主控え票は、被運送物と一緒に運ばれることなく送り主が所持しているので、この送り主控え票に複写した送り主付与情報と照合用シートに複写した送り主付与情報を照合することにより、照合用シートが差し替えられていないことをより確実なものとすることができます。送り主控え票及び照合用シートに複写された送り主付与情報を照合する手段としては、送り主控え票又はそのコピーを被運送物とは別に届けたり、送り主控え票の画像の電子データを送信したりする手法を例示することができる。

[0012] また、伝票には、伝票固有情報が付設されていることが多いので、この伝票固有情報により、伝票を識別するようにしてもよい。この場合、送り主から伝えられた送り主控え票の伝票固有情報と、届け先控え票又は運送管理票の伝票固有情報とを照合するだけで、伝票が差し替えられていないことを確認することができる。これにより、送り主控え票と照合用シートとを直接照合することなく、届け先控え票又は運送管理票に複写された送り主付与情報と照合用シートに複写された送り主付与情報を照合するだけで、照合用シートが差し替えられていないことをより確実なものとすることができます。

[0013] ここで、伝票固有情報は、目視可能に印刷されたコード番号の他、光を照射したときにのみ視認できる蛍光塗料で記載された固有情報、ICチップやバーコードなどに記録された固有情報などを含む概念である。この伝票固有情報を送り主から伝達してもらう手段としては、電話やファックス、電子メール、書面を例示することができる。この際、送り主付与情報を伝票固有情報と共に送ることができる。

[0014] 封印シール及び照合用シートの同時の差し替えを防止するため、封印シールで封止した被運送物と照合用シートとを別々にして届け先に届けるようにしてもよい。届け先に照合用シートを届ける手段としては、封筒に入れた照合用シートを別ルートで送る手法を例示することができる。

[0015] また、本発明は、被運送物が未開封であることを保証するための運送用伝票を提供する。すなわち、本発明は、送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を重ね

てなる伝票と、送り主付与情報を付設可能な封印シールと、この封印シールに付設するものと同じ送り主付与情報を付設する照合用シートとを重ねた運送用伝票を提供する。

[0016] 伝票、封印シール及び照合用シートを重ねる順としては、封印シールを最も上に重ねて、封印シールに送り主付与情報を記入し、これを照合用シートに複写可能とするのがよい。また、封印シールに記入する送り主付与情報を照合用シートと共に伝票にも複写することもできる。さらに、照合用シートを透光性材料から透視可能に形成し、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とすることもできる。

[0017] 封印シールは、被運送物から剥がす際にそれ自体が破壊されるものであってもよいが、封印シールを覆うように透視可能なカバーシールを貼付し、被運送物から剥がす際にカバーシールが破壊されるようにしてもよい。透視可能なカバーシールとしては、透光性材料から形成したものや、メッシュ状に形成したものを例示でき、カバーシールを通して封印シールの送り主付与情報を視認することができる。

[0018] また、封印シール及び照合用シートは、伝票に重ねるものに限らず、封印シールと照合用シートとを重ねて、被運送物が未開封であることを保証するための封印シールセットを構成してもよい。この封印シールセットは、伝票に重ねることによって運送用伝票を構成する。

[0019] すなわち、本発明は、送り主付与情報を記入可能な封印シールと、この封印シールに記入される送り主付与情報を複写される照合用シートとを重ねてなり、照合用シートは、透光性材料により透視可能に形成され、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とされた封印シールセットを提供する。

#### 発明の効果

[0020] 以上の説明から明らかな通り、本発明によると、封印シールに記入した送り主付与情報を照合用シートに複写した送り主付与情報を照合するので、封印シールが差し替えられておらず、被運送物が封止されたままであることを保証することができる。これにより、送り主の手を離れてから届け先に届くまでの間、被運送物が未開封であったことの保証が得られるので、機密書類や貴重品などを送るときにも運送便を安心

して利用することができる。

### 図面の簡単な説明

[0021] [図1]本発明に係る運送用伝票の斜視図

[図2]封印シールで封止した被運送物の斜視図

[図3]本発明に係る運送方法の手順を説明する図

### 符号の説明

[0022] 1 運送用伝票

2 被運送物

3 伝票

3a 送り主控え票

3b 届け先控え票

3c 運送管理表

4 封印シールセット

5 サイン

6 封印シール

7 照合用シート

8 カバーシール

9 糊付け部

10 ミシン目

11 コード番号

12 サイン欄

13 記入欄

14 カーボン紙

15 糊付け部

16 複写セット

17 粘着層

18 剥離紙

19 保持フィルム

## 発明を実施するための最良の形態

[0023] 以下、本発明に係る運送方法及び運送用伝票の実施の形態について、図面を用いて説明する。

[0024] まず、運送用伝票について説明する。図1は本発明に係る運送用伝票の斜視図、図2は封印シールで封止した被運送物の斜視図である。

[0025] この運送用伝票1は、被運送物2が未開封であることを保証するためであり、運送を確認及び管理するための伝票3と、被運送物2を封止するための封印シールセット4とからなる。その封印シールセット4は、送り主がサイン(送り主付与情報)5を記入して被運送物2を封止する封印シール6と、封印シール6に記入するサイン5を複写される照合用シート7と、封印シール6を覆うように貼付されるカバーシール8とを備えている。

[0026] 伝票3は、送り主控え票3a、届け先控え票3b及び運送管理票3cを重ねてなる複写式とされ、その一端の糊付け部9を糊付けされると共に、ミシン目10に沿って各紙票3a、3b、3cを切り取り可能とされている。各紙票3a、3b、3cには、共通するコード番号(伝票固有情報)11が印刷され、このコード番号11によって個々の運送用伝票1を識別可能とされる。なお、運送管理票3cは、物流データ管理用、荷物管理用、受領用などの複数枚の紙票である。

[0027] 伝票3の各紙票3a、3b、3cには、サイン欄12が設けられ、その上に封印シール6及び照合用シート7を重ねてサイン5を記入し、封印シール6のサイン5を照合用シート7及び各紙票3a、3b、3cに複写するようになっている。また、各紙票3a、3b、3cには、届け先の住所などの必要事項を記入する記入欄13が設けられ、一枚目の送り主控え票3aに必要事項を記入して、その記入内容を他の紙票3b、3cに複写するようになっている。

[0028] 封印シール6は、その表面にサイン5を記入可能なシールとされ、剥離紙としての照合用シート7の表面側に保持される。照合用シート7は、透光性材料により視認可能に形成された剥離性のあるシートとされ、その裏面側に、封印シール6に記入したサイン5を照合用シート7及び送り主控え票3aに複写するためのカーボン紙14が設けられている。

[0029] 照合用シート7とカーボン紙14とは、その一端の糊付け部15で糊付けされ、封印シール6と照合用シート7とカーボン紙14とからなる複写セット16を構成している。複写セット16の糊付け部15の裏面側には、複写セット16を伝票3に貼り付けるための粘着層17が設けられ、この粘着層17が剥離紙18で覆われている。

[0030] カバーシール8は、光沢のあるメッシュ状とされ、被運送物2及び封印シール6の表面に転写可能に保持フィルム19で保持されている。このカバーシール8は、メッシュ状であるため、下層を透視可能であり、封印シール6のサイン5を見ることができる。また、メッシュ状のカバーシール8は、その形状を保ったまま剥がすことができず、被運送物2から剥がす際に確実に破壊されるようになっている。

[0031] さらに、カバーシール8に光沢があるため、封印シール6及びカバーシール8を切断して開封した後に、その切断部分を透明な別のシールで覆って開封されていないかのように改ざんしようとしても、透明シールによってメッシュ状の光沢が消え、その改ざんを見破ることができる。なお、封印シール6を光沢のあるものとして、メッシュ状のカバーシール8を光沢のないものとしてもよい。

[0032] 次に、上記の運送用伝票を用いて被運送物が未開封であったことを保証する運送方法を説明する。図3は本発明に係る運送方法の手順を説明する図である。

[0033] まず、(a)に示すように、送り主から被運送物2を引き受ける際、複写セット16から剥離紙18を剥がして、その粘着層17を伝票3の糊付け部9に合わせ、伝票3の表面側に複写セット16を貼り付ける。このとき、複写セット16の封印シール6が伝票3のサイン欄12に重なる。なお、伝票3に複写セット16を組み込んだものを用意しておくこともできる。

[0034] (b)に示すように、送り主に、複写セット16の封印シール6にサイン5を記入してもらう。その際の筆圧により、サイン5がカーボン紙14の表側の照合用シート7と、カーボン紙14の裏側の送り主控え票3aのサイン欄12とに複写され、さらに、サイン5が伝票3の他の紙票3b、3cのサイン欄12にも複写される。また、送り主控え票3aの記入欄13に届け先住所などの必要事項を記入してもらうことにより、その記入内容が伝票3の他の紙票3b、3cに複写される。伝票3から送り主控え票3aを切り取って送り主に渡す。

[0035] (c)に示すように、複写セット16の照合用シート7から封印シール6を剥がして、この封印シール6で被運送物2を封止する。さらに、封印シール6を覆うようにカバーシール8を保持フィルム19から転写する。なお、これらの作業は、送り主に依頼することもできる。

[0036] (d)に示すように、運送用伝票1と被運送物2とを届け先に搬送する。この間に、送り主が電話などをを利用して、運送用伝票1のコード番号11を届け先に伝えたり、送り主控え票3aを届け先に別送したりすることもできる。

[0037] (e)に示すように、届け先で、被運送物2を封止する封印シール6に記入されたサイン5の照合と、封印シール6が破壊されていないことの確認を依頼する。封印シール6に記入されたサイン5の照合は、伝票3に複写されたサイン5と照合用シート7に複写されたサイン5とを照合して、照合用シート7が差し替えられていないことを確認した上で、封印シール6に記入されたサイン5と照合用シート7に複写されたサイン5とを照合するようにする。ここで、サイン5の照合は、透光性の照合用シート7を他方のサイン5に重ねて照合する。

[0038] (f)に示すように、封印シール6又は照合用シート7のサイン5が偽造されたとき、それらのサイン5が互いにずれるので、サイン5の偽造を容易に見破ることができる。照合したサイン5が一致することを確認した後、送り主がサイン5を記入した封印シール6で被運送物2が封止されたままであり、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物2が未開封であったことを保証して、届け先に被運送物2を引き渡す。

[0039] なお、運送用伝票1のコード番号11が伝えられている場合には、伝えられたコード番号11と届けられた運送用伝票1のコード番号11とが一致することを確認して、伝票3が差し替えられていないことを確認し、被運送物2が未開封であったことをより確実に保証する。また、送り主控え票3aが別送されている場合には、送り主控え票3aに複写されたサイン5と照合用シート7に複写されたサイン5を照合して、伝票3が差し替えられていないことを確認し、被運送物2が未開封であったことをより確実に保証する。

[0040] なお、本発明は、上記の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の範囲内

において、適宜変更を加えることができる。例えば、照合用シート7を被運送物2と一緒に届ける代わりに、照合用シート7と被運送物2とを別々にして届け先に届けるようにし、照合用シート7の偽造を防止するようにしてもよい。封印シール6をカバーシール8で覆う代わりに、封印シール6にそれ自体が破壊されるシールを採用してもよい。カーボン紙14の代わりに、顕色剤と染料を収容したマイクロカプセルとの組合せによるノンカーボンタイプの複写手段を採用してもよい。

[0041] また上記実施形態では、カバーシール8を伝票3に組み込んだ例を示したが、これに限らず、伝票3とは切り離して、例えば、物流業者がカバーシール8を保持するようにし、状況に応じて適宜使用するようにしてもよい。

#### 産業上の利用可能性

[0042] 本発明に係る運送方法及び運送用伝票は、例えば書類や小包の運送に採用することができる。利用者は、書類封筒や小包が未開封であったことの保証が得られるので、機密書類や貴重品などを送るときにも安心して運送サービスを利用することができる。

## 請求の範囲

[1] 送り主から預かった被運送物を届け先に届けると共に、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物が未開封であったことを保証する運送方法であって、  
送り主から被運送物を引き受ける際、送り主によって封印シールに記入される送り主付与情報を照合用シートに複写し、次いで、被運送物を前記封印シールで封止して届け先に搬送し、届け先に被運送物を引き渡す際、封印シールに記入された送り主付与情報と照合用シートに複写された送り主付与情報との照合により、送り主によって送り主付与情報を記入された封印シールで被運送物が封止されたままであることを保証することを特徴とする運送方法。

[2] 透光性材料により透視可能に形成した照合用シートを使用し、該照合用シートを封印シールに重ねて送り主付与情報を照合することを特徴とする請求項1に記載の運送方法。

[3] 送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を複写可能に重ねてなる伝票に、封印シール及び照合用シートを重ねて、封印シールに記入される送り主付与情報を照合用シートと共に伝票にも複写しておき、照合用シートに複写された送り主付与情報と伝票に複写された送り主付与情報との照合により、照合用シートが差し替えられていないことを確認することを特徴とする請求項1又は2に記載の運送方法。

[4] 伝票に付設された伝票固有情報により、伝票が差し替えられていないことを確認することを特徴とする請求項3に記載の運送方法。

[5] 封印シールで封止した被運送物と照合用シートとを別々にして届け先に届けることを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の運送方法。

[6] 被運送物が未開封であることを保証するための運送用伝票であって、  
送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を複写可能に重ねてなる伝票と、送り主付与情報を付設可能な封印シールと、該封印シールに付設されるものと同一の送り主付与情報を付設される照合用シートとが重ねられたことを特徴とする運送用伝票。

[7] 前記伝票、封印シール及び照合用シートのうち、前記封印シールが最も上に重ね

られ、封印シールに記入された送り主付与情報を照合用シートに複写可能とされたことを特徴とする請求項6に記載の運送用伝票。

- [8] 封印シールに記入される送り主付与情報が照合用シートと共に前記伝票にも複写されることを特徴とする請求項7に記載の運送用伝票。
- [9] 前記照合用シートは、透光性材料により透視可能に形成され、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とされたことを特徴とする請求項6、7又は8に記載の運送用伝票。
- [10] 封印シールを覆うように貼付される透視可能なカバーシールが設けられ、該カバーシールは、被運送物から剥がす際に破壊されることを特徴とする請求項6～9のいずれかに記載の運送用伝票。
- [11] 被運送物が未開封であることを保証するための封印シールセットであって、送り主付与情報を記入可能な封印シールと、該封印シールに記入される送り主付与情報を複写される照合用シートとを重ねてなり、前記照合用シートは、透光性材料により透視可能に形成され、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とされたことを特徴とする封印シールセット。

## 補正書の請求の範囲

[2005年8月19日 (19. 08. 2005) 国際事務局受理 : 出願当初の請求の範囲1は取り下げられた; 出願当初の請求の範囲2-11は補正された請求の範囲1-10に置き換えられた。(2頁)]

[1] 送り主から預かった被運送物を届け先に届けると共に、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物が未開封であったことを保証する運送方法であって、

送り主から被運送物を引き受ける際、送り主によって封印シールに記入される送り主付与情報を透光性材料により透視可能に形成した照合用シートに複写し、次いで、被運送物を前記封印シールで封止して届け先に搬送し、届け先に被運送物を引き渡す際、照合用シートを封印シールに重ねて、封印シールに記入された送り主付与情報を照合用シートに複写された送り主付与情報を照合することにより、送り主によって送り主付与情報を記入された封印シールで被運送物が封止されたままであることを保証することを特徴とする運送方法。

[2] 送り主から預かった被運送物を届け先に届けると共に、送り主からの引受時から届け先への引渡時までの間、被運送物が未開封であったことを保証する運送方法であって、

送り主から被運送物を引き受ける際、送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を複写可能に重ねてなる伝票に封印シール及び照合用シートを重ねて、送り主によって封印シールに記入される送り主付与情報を照合用シート及び伝票に複写し、次いで、被運送物を前記封印シールで封止して届け先に搬送し、届け先に被運送物を引き渡す際、照合用シートに複写された送り主付与情報を伝票に複写された送り主付与情報を照合して照合用シートが差し替えられていないことを確認すると共に、封印シールに記入された送り主付与情報を照合用シートに複写された送り主付与情報を照合することにより、送り主によって送り主付与情報を記入された封印シールで被運送物が封止されたままであることを保証することを特徴とする運送方法。

[3] 伝票に付設された伝票固有情報により、伝票が差し替えられていないことを確認することを特徴とする請求項2に記載の運送方法。

[4] 封印シールで封止した被運送物と照合用シートとを別々にして届け先に届けることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の運送方法。

補正された用紙 (条約第19条)

[5] 被運送物が未開封であることを保証するための運送用伝票であって、送り主控え票、届け先控え票及び運送管理票を複写可能に重ねてなる伝票と、送り主付与情報を付設可能な封印シールと、該封印シールに付設されるものと同一の送り主付与情報を付設される照合用シートとが重ねられたことを特徴とする運送用伝票。

[6] 前記伝票、封印シール及び照合用シートのうち、前記封印シールが最も上に重ねられ、封印シールに記入された送り主付与情報を照合用シートに複写可能とされたことを特徴とする請求項5に記載の運送用伝票。

[7] 封印シールに記入される送り主付与情報が照合用シートと共に前記伝票にも複写されることを特徴とする請求項6に記載の運送用伝票。

[8] 前記照合用シートは、透光性材料により透視可能に形成され、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とされたことを特徴とする請求項5、6又は7に記載の運送用伝票。

[9] 封印シールを覆うように貼付される透視可能なカバーシールが設けられ、該カバーシールは、被運送物から剥がす際に破壊されることを特徴とする請求項5～8のいずれかに記載の運送用伝票。

[10] 被運送物が未開封であることを保証するための封印シールセットであって、送り主付与情報を記入可能な封印シールと、該封印シールに記入される送り主付与情報を複写される照合用シートとを重ねてなり、前記照合用シートは、透光性材料により透視可能に形成され、被運送物を封止する封印シールに重ねることによって送り主付与情報を照合可能とされたことを特徴とする封印シールセット。

条約第19条（1）に基づく説明書

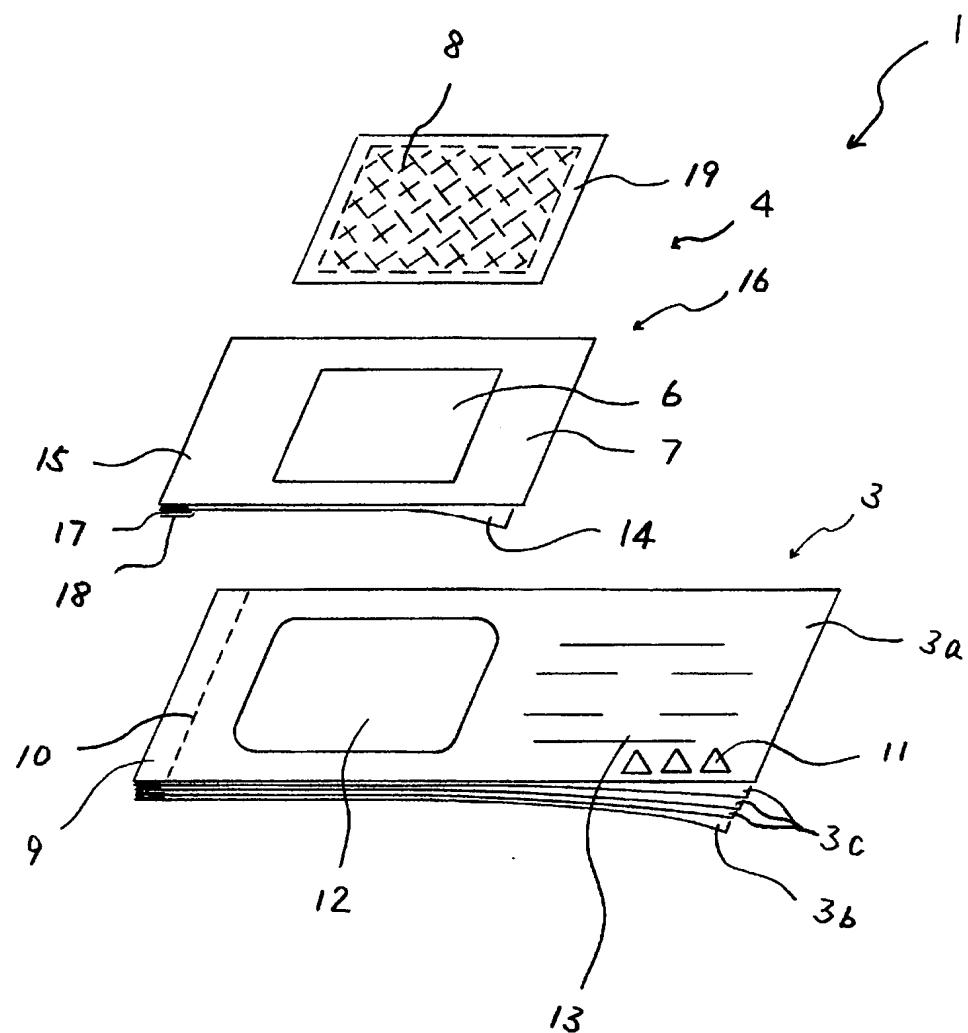
補正前の請求項1は、補正により削除している。

請求項1は、補正前の請求項1に従属する請求項2と同じ内容である。

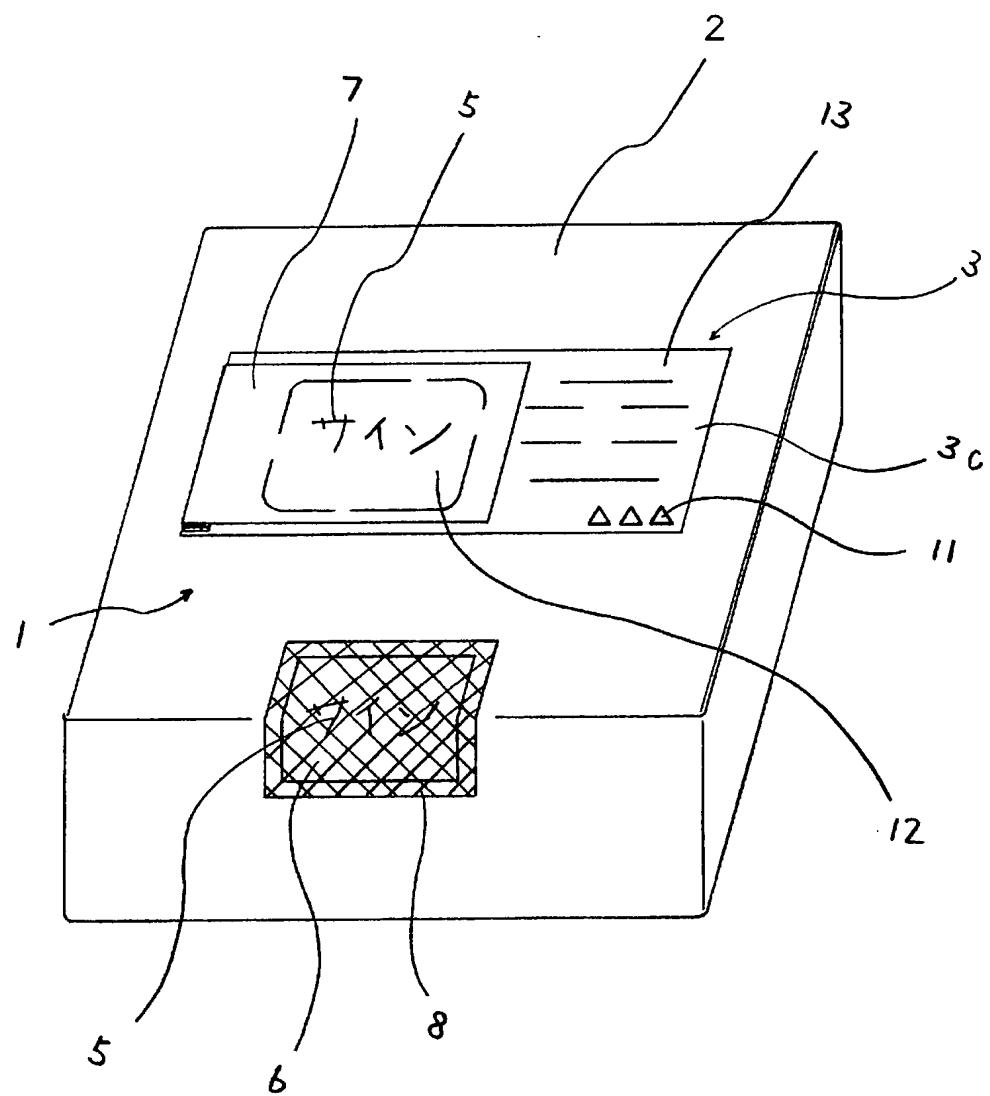
請求項2は、補正前の請求項1に従属する請求項3と同じ内容である。

請求項3、4、5、6、7、8、9、10は、補正前の請求項4、5、6、7、8、9、10、11と同じ内容である。

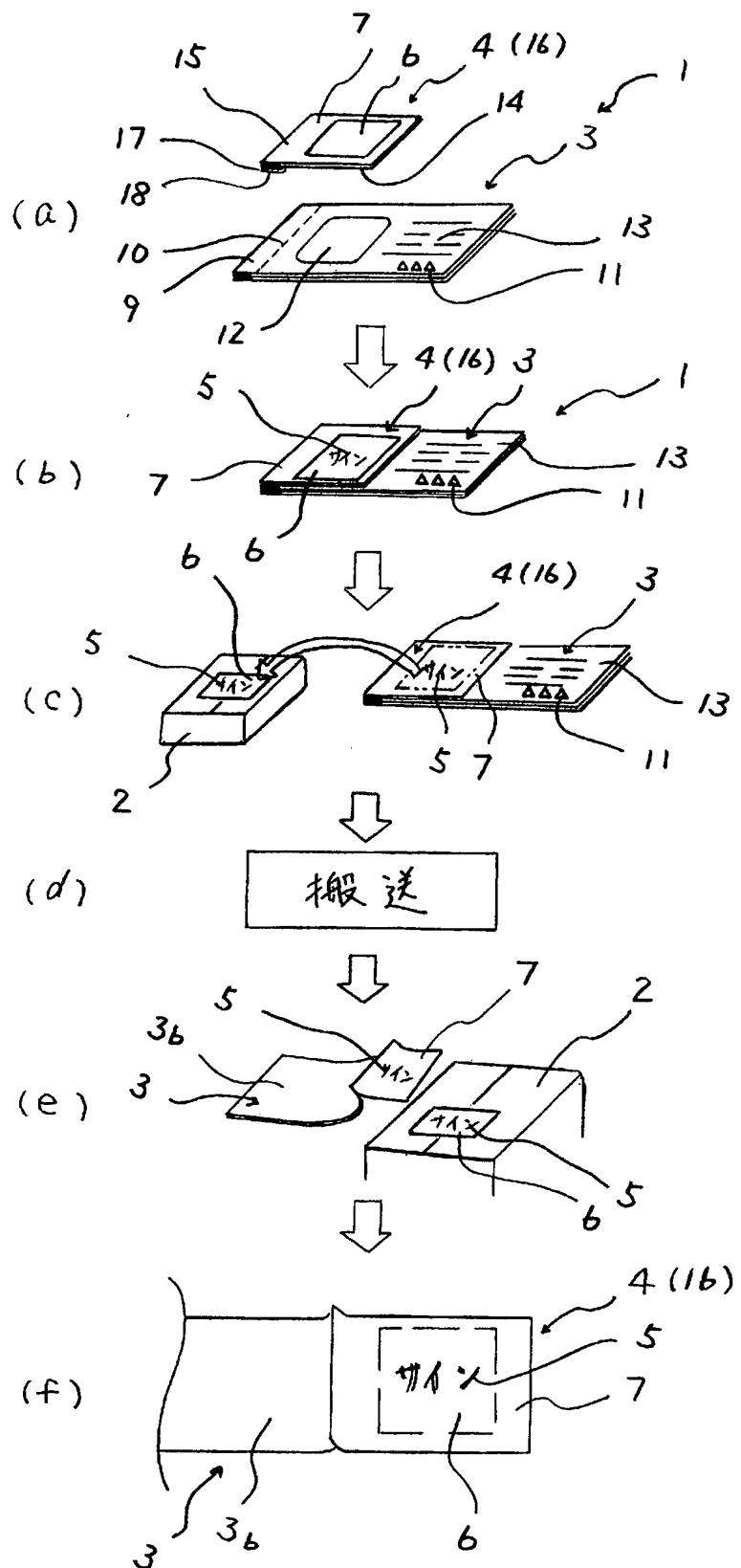
[図1]



[図2]



[図3]



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/007104

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int. Cl<sup>7</sup> B65G61/00, B42D11/00, G09F3/03

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl<sup>7</sup> B65G61/00, B42D11/00, G09F3/03Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched  
Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2005  
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2005 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2005

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	JP 2001-270544 A (Heiwa Corp.), 02 October, 2001 (02.10.01), 'Sealed Strip 1' (Family: none)	1 2-11
E, X E, A	JP 2005-104558 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 21 April, 2005 (21.04.05), Par. No. [0026]; 'Crush No. b' (Family: none)	1 2-11
A	JP 2005-67814 A (Honda Motor Co., Ltd.), 17 March, 2005 (17.03.05), 'Key Information 32' (Family: none)	5

 Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&amp;" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
04 July, 2005 (04.07.05)Date of mailing of the international search report  
19 July, 2005 (19.07.05)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.<sup>7</sup> B65G61/00, B42D11/00, G09F3/03

## B. 調査を行った分野

## 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.<sup>7</sup> B65G61/00, B42D11/00, G09F3/03

## 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

## 国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X A	JP 2001-270544 A (株式会社平和) 2001.10.02, 「封緘条片1」参照 (ファミリーなし)	1 2-11
EX EA	JP 2005-104558 A (大日本印刷株式会社) 2005.04.21, 段落番号【0026】及び「クラッシュ番号b」参照 (ファミリーなし)	1 2-11

 C欄の続きにも文献が列挙されている。

「パテントファミリーに関する別紙を参照。」

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

## の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
 「&」同一パテントファミリー文献

## 国際調査を完了した日

04.07.2005

## 国際調査報告の発送日 19.7.2005

## 国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

## 特許庁審査官 (権限のある職員)

仁木 学

3F 3115

電話番号 03-3581-1101 内線 3351

C (続き)	関連すると認められる文献	関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	
A	JP. 2005-67814 A (本田技研工業株式会社) 2005. 03. 17, 「鍵情報32」を参照 (ファミリーなし)	5